



第2類
医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



水虫治療薬 ラマストンリキッドN

1日1回で効く

ラマストンリキッドNは…

- ベンジルアミン系抗真菌剤「ブテナフィン塩酸塩」を配合しています。
- 水虫・たむしの原因菌である白癬菌に強い抗菌作用をあらわします。
- 水虫・たむしのかゆみを抑えるリドカインを配合しています。
- 白癬菌が寄生している角質層へ速やかに親和し、すぐれた貯留性をあらわします。
- 乾きの早い液剤です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください
本剤又は本剤の成分により、アレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 次の部位には使用しないでください
 - (1) 目や目の周囲、粘膜(例えば、口腔、鼻腔、膣等)、陰のう、外陰部等。
 - (2) 湿疹。
 - (3) 湿润、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部。

🗨 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 乳幼児。
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (5) 患部が顔面又は広範囲の人。
 - (6) 患部が化膿している人。
 - (7) 「湿疹」か「みずむし、ぜにたむし、いんきんたむし」かがはっきりしない人。
(陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い。)
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感、落屑、ただれ、水疱、亀裂

3. 2週間位使用しても症状がよくならない場合、また、本剤の使用により症状が悪化した場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

[効 能]

みずむし、ぜにたむし、いんきんたむし

[用法・用量]

1日1回、適量を患部に塗布してください。

〔用法・用量に関連する注意〕

- (1) 患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。
- (2) 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
- (3) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (4) 外用にのみ使用してください。
- (5) 定められた用法・用量を厳守してください。

◎容器の使用方法

使用する時は容器を下向きにして、患部に先端を軽く押しあてて塗布してください。(先端を患部からはなすと、薬液がでなくなります。)



〔成分・分量と働き〕

成分	分量	働き
ブテナフィン塩酸塩	1.0W/v%	水虫・たむしの原因である白癬菌に対して抗菌作用をあらわします。
リドカイン	2.0W/v%	水虫・たむしのかゆみを抑えます。
l-メントール	1.0W/v%	水虫・たむしのかゆみを鎮めます。

添加物として、乳酸セチル、アクリル樹脂アルカノールアミン、ヒドロキシプロピルセルロース、イソプロパノール、エタノールを含有します。

〔成分・分量に関連する注意〕

アルコールを含んでいますので、塗布時にしみることがあります。

◎保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えしないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4) 使用期限をすぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても開封後は品質保持の点からなるべく早く使用してください。
- (5) 火気に近づけたり、火の中に入れてしないでください。また、使用済みの容器は火中に投げしないでください。
- (6) 合成樹脂(スチロール等)を軟化したり、塗料を溶かしたりすることがありますので、床や家具などにつかないようにしてください。
- (7) 本剤のついた手で、目や粘膜にふれないでください。



◎水虫の上手なお手当法

1. **清潔** 患部は常に清潔にしてください。
入浴の際は刺激の少ない石鹸を使いましょう。
2. **乾燥** 患部のむれを予防し乾燥に心がけましょう。
白癬菌は、じめじめした環境を好みます。スポーツなどで汗をかいたあとや入浴のあとには、タオルで患部を十分にふいて乾燥させることを心がけてください。くつしたは本綿のものをはきましょう。
3. **根気** かゆみなどの症状がとれても白癬菌が死滅していないことが多く、途中で治療を中止してしまうと再発の原因になります。かゆみなどがとれたあとも、1ヵ月間は根気よく治療を続けてください。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独) 医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めの
お店又は下記にお願い申し上げます。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03(5412)7393
受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号